

Medical News



当院における超音波内視鏡検査(EUS)の現状と展望

消化器内科 医長 松本 善秀

高知大学 平成19年卒業

- ・京都大学医学博士
- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本内科学会認定内科医・指導医
- ・日本消化器病学会専門医・指導医
- ・日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・日本がん治療認定医
- ・日本消化器病学会近畿支部評議員
- ・日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員



消化器内科は消化管領域や肝胆膵領域など様々な臓器の診療に携わっており、その中で内視鏡を用いた診療は消化器内科の大きな特徴の一つとなります。今回は、超音波内視鏡に焦点を当て、当院における超音波内視鏡検査(EUS)の現状と展望について説明したいと思います。

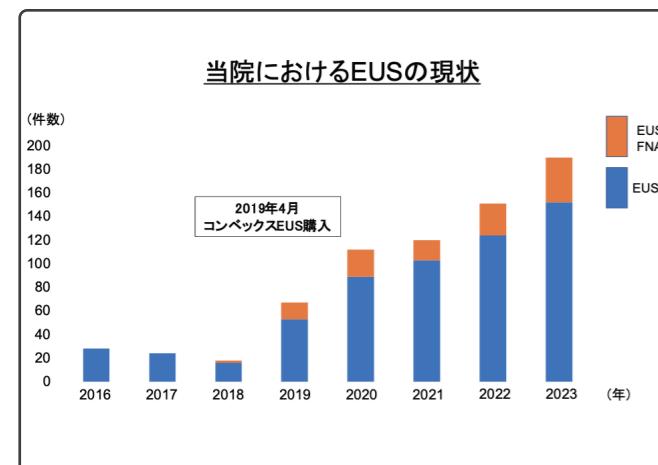
超音波内視鏡(EUS)について

超音波内視鏡(EUS: endoscopic ultrasonography)とは、内視鏡先端に搭載された高周波プローブを使用することにより、空間分解能に優れた観察を可能にした検査で、上部消化管内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)と同様に口から挿入します。EUSの先端を胃壁や十二指腸壁にあてて観察することで、消化管や脾臓、肝臓、胆道系、腹腔内リンパ節などを詳細に観察できることから、CTやMRI等で病気が見つかった際、精査を行うことが主な役割となります。通常、外来で検査を行うことができ、検査時間は約30分です。当院では、EUSの検査の際に鎮静剤を使用しておりますので、検査当日は乗り物の運転ができないことが注意点となります。また、EUSを用いて超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)を行うこ

とで、病変の組織診断も可能であることが特徴の一つとなります。EUS-FNAを行う際は、入院をしていただき検査を実施しています。

当院におけるEUSの現状～特徴～

当院では、2019年4月にコンベックス型のEUS(GF TYPE UCT260)を導入しました。それ以降、脾腫瘍の精査を中心にEUSを使用する頻度は年々増加しています。症例の経験を積むことで、全ての消化器内科医師がスクリーニングのEUS検査を行うことができるようになっています。検査は術者一人で行うのではなく、介助者と看護スタッフの協力のもと、チーム医療で実施しています。専攻医が術者で施行する場合は、必ず上級医が介助者となり、安全面や医療の質に関しても注意を払っています。さらにCOVID-19感染症の流行からは、より感染症対策を徹底し検査に取り組んでいます。また、他の検査予定との兼ね合いにはなりますが、平日であれば曜日に関わらず検査を行うことができ、迅速な検査を可能としていることも当院の大きな特徴と言えます。これらの結果、診断精度の向上と治療計画の最適化が可能となっています。



当院におけるEUSの現状

- ・診断ツールとしての有用性を確立できている
- ・様々な診療科に関わるがんに対して対応することができる
- ・腹部臓器だけでなく、胸部/縦隔疾患にも対応することができる

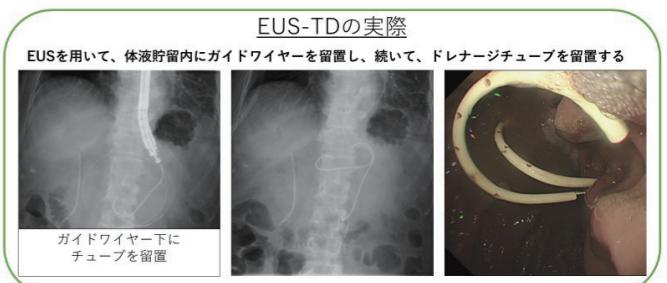
↓

気軽に神鋼記念病院消化器内科に紹介してください

当院におけるEUSの展望

EUSを治療内視鏡へ応用していきたい

- ・超音波内視鏡下経消化管的ドレナージ
(endoscopic ultrasound-guided transluminal drainage: EUS-TD)
- ・超音波内視鏡下胆道ドレナージ
(endoscopic ultrasound-guided biliary drainage: EUS-BD)



②超音波内視鏡下胆道ドレナージ (EUS-BD: endoscopic ultrasound-guided biliary drainage)

「EUS-BD」は EUS-FNA の技術を用いて、胆汁の流れが悪くなった胆管に対してステントを経消化管的に留置する治療のことで、消化管閉塞や術後再建腸管などの影響で、内視鏡的逆行性胆管造影(ERCP)によるドレナージ治療ができない場合に検討されます。胆管への穿刺経路によって治療の名称が異なり、胃から穿刺する場合は「EUS-HGS (hepatogastrostomy)」、十二指腸球部から穿刺する場合は「EUS-CDS (choledochoduodenostomy)」と呼ばれます。EUS-BD は広く普及しているものの、重篤な合併症の報告もあり、安全性・容易性の向上が求められています。

以上、当院における超音波内視鏡検査(EUS)の現状と展望について説明させていただきました。今後も EUS を診断ツールおよび治療ツールとして有効に活用できるように研鑽を積んでいきます。該当される患者さんがいらっしゃいましたら、当院消化器内科に紹介していただけましたら幸いです。

当院におけるEUSの現状 ～他診療科との連携～

今日の医療では、EUS は特に膵がん診療において重要な役割を果たしています。EUS は、「膵がん診療ガイドライン 2022」で、CT や MRI(MRCP)と同等の精密検査の位置付けとなっており、微小病変の検出に有用とされています。このことから EUS は膵臓の精査や消化器臓器の精査を行う検査である印象が強いかもしれません。しかし、EUS は消化器臓器だけを対象にしているわけではありません。縦隔腫瘍や副腎など組織採取が難しい腫瘍に対しても、EUS での精査が可能となっています。当院はたくさんの診療科で構成されており、原発・転移を問わず、肺がん、悪性リンパ腫、乳がんといった様々な診療科に関わるがんに対しても、精査を行うことができます。

当院におけるEUSの展望

EUS は診断ツールとしての有用性を確立し、全国で普及しています。近年 EUS を用いた技術革新は目覚ましく、EUS ガイド下に消化管内から消化管近傍の対象物を穿刺して治療するドレナージ術にも応用されており、ますます EUS の重要性が高まっています。そのため、当院でもドレナージ治療に EUS を応用を検討しています。具体的には、①超音波内視鏡下経消化管的ドレナージ (EUS-TD: endoscopic ultrasound-guided transluminal drainage) と②超音波内視鏡下胆道ドレナージ (EUS-BD: endoscopic ultrasound-guided biliary drainage) と呼ばれる治療法です。ここで、それぞれに関して概説します。

①超音波内視鏡下経消化管的ドレナージ (EUS-TD: endoscopic ultrasound-guided transluminal drainage)

EUS を用いて、消化管から液体貯留をドレナージする手法であり、特に膵炎後の局所合併症に対する有効性が報告されています。膵炎を発症すると、膵炎に伴い膵周囲に液体貯留を来すことがあります。同部への感染例や有症状例では治療が必要となる場合があります。その際、低侵襲な治療から開始し、反応性をみながら必要に応じて侵襲度の高い治療に移行する「step-up approach」という方法が、標準的な治療法となります。腹腔内への穿破リスクを考慮し、被包化が形成される 4 週間以降を目安として、保存的な治療効果が乏しい場合に EUS-TD を行います。EUS-TD でも治療が難渋する場合、step-up として、ネクロセクトミーや外科的介入が検討されます。

開業医探訪

Vol.76 木戸みみ・はな・のどクリニック



2024年4月の開業医探訪は、JR住吉駅から南へ。国道2号線そばで耳鼻咽喉科診療を行っている「木戸みみ・はな・のどクリニック」へ訪問致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

ご縁があって東灘区住吉で診療をしています。2016(平成28)年11月から開始し、現在8年目に入っています。

— どのような患者さんが来院されますか？

耳鼻咽喉科ですので、耳から喉まで全体的に対応させていただいている。鼻や喉の風邪、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、また難聴、めまいを伴う耳の疾患、声がでない、など様々です。この季節ですと花粉症の症状で悩まれて来院される方がとても多いです。近隣に住まわれている方の年齢層も、0歳児から大正生まれの方までとても幅広く来院されます。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

患者さんのお話をよく傾聴し、その方のお困りの症状をできる限り改善できるよう「寄り添う医療」を心がけています。受診後、患者さんが笑顔で帰っていかれるように有りたいと思っています。

— ひとこと

当院の理念として、「ここに来て良かった。」と思っていただけるようなくクリニック作りを目指しています。これからも医療だけでなく、心のこもったホスピタリティを提供できる、患者さんにとって心地よいクリニックを、スタッフと一緒に創っていきたいと思います。

木戸みみ・はな・のどクリニック

〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町4丁目7-27 ラファエラ浅野ビル3階
TEL: 078-262-1133
院長: 木戸茉莉子

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	○	○	/	○	○	▲	/
15:45 ~ 18:45	○	○	/	○	○	/	/

▲… 09:00 ~ 13:00

休診 水曜、土曜午後、日曜、祝日

Information

医師の異動

新入職医師（4月1日付）

診療科	役職	氏名
消化器外科	部長	小川 晃平
乳腺科	医長	橋本 一樹
脳神経外科	医長	羽星 辰哉
膠原病リウマチ科	医長	米田 勝彦
循環器内科	医長	竹内 仁一
消化器内科	医師	平川 博章
膠原病リウマチ科	医師	山岡 匠
皮膚科	専攻医	辰田 奈那恵
総合内科（呼吸器内科）	専攻医	今尾 舞
総合内科（消化器内科・膠原病リウマチ科・呼吸器内科）	専攻医	高橋 元気
総合内科（呼吸器内科・血液内科）	専攻医	宇野 将真
総合内科（膠原病リウマチ科）	専攻医	中川 真綾
総合内科（消化器内科）	専攻医	畠田 真梨子
総合内科（循環器内科）	専攻医	石見 広大
総合内科（血液内科）	専攻医	柱本 まどか
総合内科（呼吸器内科）	専攻医	高田 陽平
総合内科（消化器内科）	専攻医	山口 慧世
総合内科（消化器内科）	専攻医	山田 貴大
総合内科（糖尿病代謝内科）	専攻医	平野 恵子
乳腺科	専攻医	黒野 慎子
脳神経外科	専攻医	貞廣 あり紗
整形外科	専攻医	十川 裕士
形成外科	専攻医	西川 真由
総合内科（血液内科）	専攻医	武 修作
消化器外科	専攻医	中川 慶二
泌尿器科	専攻医	中村 稔

退職医師（3月31日付）

診療科	役職	氏名
救急科	部長	鷹羽 淨顯
泌尿器科	医長	宮崎 彰
皮膚科	医長	五木田 麻里
整形外科	医長	小西 宏樹
麻酔科	医長	松本 友里
消化器外科	医師	宮部 秀晃
呼吸器内科	医師	池内 美貴

Medical News

2024年4月

Vol.201

Shinko Hospital

Contents

- 当院における超音波内視鏡検査(EUS)の現状と展望
- 開業医探訪
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。
6. 職員が心身とともに健康で、一人ひとりの能力を発揮できる職場づくりを推進します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47

TEL:078-261-6711 (代表)

FAX:078-261-6726

URL:<https://shinkohp.jp>

発行責任者：理事長 山本 正之

編集責任者：神鋼記念病院広報委員長

松本 元

詳しい情報はこちらから！

神鋼記念病院

検索

<https://shinkohp.jp>

